

2021年6月16日

令和3年度 VOL.12

《いよいよ
梅雨入り》

濡葉に映える、白い花 「アジサイ “アナベル”」 咲いています

国営ひたち海浜公園では、ひなの林にてアジサイ“アナベル”が咲いています。雑木林の林床を、白い「てまり咲き」の花が、まるで雲のようにモコモコ埋めつくしています。開花は平年並みで、6月末までお楽しみいただける見込み。雨に濡れキラキラと輝くアジサイが、天気がスッキリしない梅雨時期の園内を明るくしてくれます。



ひなの林のアジサイ(2021年6月12日撮影)

◆世界へ広がった日本のアジサイ

アジサイの仲間(アジサイ科アジサイ属)は、アジアや南北アメリカに約30種が分布し、日本には12種が自生。日本固有のガクアジサイから、花序全体が装飾花に変化したアジサイが生まれ、数々の園芸品種が作出されました。18世紀にはヨーロッパに渡って品種改良がおこなわれ、世界中へと広がりました。属名の *Hydrangea* はギリシア語の「水」を表すヒドロ(hydro)と「容器」のアンゲイオン(angeion)からなり、水をたくさん必要とする性質から名付けられたとされています。



純白の装飾花
(2020年6月25日撮影)

◆北米原産のアジサイ “アナベル”

ひなの林に植栽している“アナベル”は、北米原産のアメリカノリノキを品種化したアジサイです。白い小さな装飾花が密に集まった大きな集合花を、株一面に咲かせます。花色の変化も魅力で、咲き始めの淡い緑から、純白に変化。咲き進むと再び緑となり、秋にはドライフラワーのようになります。

場所/ひなの林 株数/約550株 観賞期間/6月中旬~下旬



傘を差してアジサイ観賞
(2020年6月25日撮影)

◆傘が似合う梅雨の風物詩

これからの梅雨の時期、雨が似合うアジサイは、傘を差しての散策も絵になります。雨に濡れた葉は、緑がより鮮やかになり、白いアジサイをより一層引き立てます。また、天気が良い日には、木漏れ日が差し込む林内で、ゆらゆらと揺れる光が作り出す幻想的な風景をお楽しみいただけます。

Information

6月19日開催
「森の昆虫さがし」参加者募集中

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>